創立 20 周 年を祝って

日野高校創立20周年記念式典・日野高校同窓会創立100周年記念式典

谷 元顧問 博徳

「地域になくてはならない学校に」と坪倉校長

同窓会の関東・関西支部はオンラインで参加

# あいさつ。また、オンラインで参加 はじめに同窓会長の内田博長さんが と題し、郷土芸能部を立ち上げた当 ん(上菅)が、「世の中逆さが面白い」 高校郷土芸能部元顧問の小谷博徳さ しっかりと根を張り、地域で活躍する 人材となるよう望んでいる」と式辞。 同窓会100周年記念式典では、 記念講演が行われ、日野 関西の両支部が祝 同校の歴 地域に 金持ブランドを生かした地域産商品開発へ

# 町と株式会社吉田ふるさと村との連携協定締結式

休校となり、生徒たちはインターネッ 当日は大雨の影響で日野高校が臨時 の20周年記念式典が行われました。 校が統合して設立された、日野高校

辞を贈りました。 した同窓会関東、

その後、

ト中継で式典を視聴していました。

会の急速な変化に対応していく力が求

校歌が演奏されました。

なった根雨高等女学校など、 史を振り返る動画の上映や、

4

式典で坪倉寿樹校長は、「時代や社

策を行った上で開催されました。 今年は、規模を縮小し十分な感染対 ウイルス感染拡大の影響を受け延期。

時のことを語りました。

はじめに、

根雨高校と日野産業高

くも行う予定でしたが、新型コロナ

日野高校は昨年20周年を迎え、式

その後、

|窓会の創立100周年の記念式曲

9日

日野高校の創立20周年、

められている。

日野高校生は、

町文化センターで開かれました。

7月8日、町と株式会社吉田ふるさと村(島根県雲南市)との、 地域産品の開発などに向けた連携協定締結式が、金持テラスひ ので行われました。

農産物の加工品などを手掛ける吉田ふるさと村。町内農産物 の生産拡大を目指すため、農産物の供給と加工製造などを町と 役割分担し、開発した商品を「金持ブランド」として販売します。 商品開発力や販路を持つ県外の企業と連携することで、生産者 の開発コストや時間を抑えることができます。



▲新商品もお披露目しました! 金持テラ スひの「まめなか屋」で販売しています。

農村の発展に向ける

▲協定書を手にする俗田町長(左)と高岡社長(右)

## 【「金持ブランド」第1弾商品(19品目)】

杵つきもち(1 品目)、ドレッシング(6 品目)、卵かけご飯専用 醤油(1品目)、おにぎりみそ(4品目)、焼肉のたれ(4品目)、 スパイス (3 品目)



# はるかのひまわり絆プロジェクト

大空に向かって、

ぐんぐん育て!

きれいな花が咲くよう願いを込めて (根雨小)

わり絆プロジェクト」が行われまし 8月3

日野高校生徒会とPTAが中心と 受けました。その引き継いだ種を

ロナ感染を防ぐために

町内の保育所や小中学

育てていき

り組みです。 ないでいくことで、 を伝える、 ヒマワリの種を「はるかのひまわり ジェクト。亡くなった場所に咲いた なった女の子から名付けられたプロ と名付け、 これは、 全国的に行われている取 絶えることなく育ててつ 命の大切さなど

昨年度、 はるかのひまわり」 日野高校が、 の種を譲り 米子高校か

ていました。

日に黒坂小学校で、「はるかのひま 7月13日に根雨小学校で、

阪神淡路大震災で亡く なって育て、 校などにその輪を広げ、

地域の人たちと一緒に、 満開に咲く光景を思い、 ようと思った。咲いているところを えていきました。 寧に「はるかのひまわり」 早く見たい」と、 苗を植えた児童は、 定植作業の当日には、 植えたヒマワリが 「大事に育て 児童たちは 笑顔を見せ の苗を植 本一本丁



大きく育ちますように!水やりも忘れずに(黒坂小)

# 新型コロナウイルスワクチンの集団接種 ワクチン接種には

接種会場となった日野病院

らは12歳以上を対象に、 も実施。 30分までを受付時間とした夜間接種 月6日には、 日に実施されました。 種が先行して開始され、 団接種が、5月8日から8月8 接種が、5月8日から8月8日新型コロナウイルスワクチンの 65歳以上の高齢者を対象とした接 日野病院で行われました。

と9月17日 (2回目) れない人に対応しました。 補足日として、 土日に働く世代や昼間 午後6時から午後8時 8 月 27 日 も夜間接種を 7 月 16 主に土日 7 月 10 日 か 1回目 日と8 曜

# .徳興産が町水道施設等の除草作賞

令和3年6月から7月にかけて、株式会社三 徳興産(米子市)が、社会貢献活動の一環として、 町の水道施設等の除草作業を行いました。

生い茂っていた草がきれいに刈り取られ、町 民の皆さんに安心安全な水を送るための施設管 理が円滑にできるようになりました。



の集